

■ 2023年3月の行事案内 ■

観察会と自然復元管理作業

*気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

活動日

3月4日(土) 3月19日(日) 4月1日(土)

季節を感じる観察会：10:00～12:00

自然復元管理作業：13:00～15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：100円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・お飲み物・着替え等
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で!)

■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

<一般会員> 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や承認など、会の基本的な運営に参加していただけます。

<賛助会員> 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただけます。

<どろんこ会員> 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

<行事案内・入会に関してのお問い合わせ>

NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<https://mizumoto-np.jpn.org/>

とんぼ 秋津

2023年3月号

秋津(あきつ)とは、
トンボの古い呼び名。
そして日本は昔、
「秋津島」と呼ばれていました。



<3月>

種名：チャノコカクモンハマキ よしえ画

学名：Adoxophyes honmai

開張は13～21mmで、本州から屋久島、奄美大島に生息している。成虫の出現時期は3～10月で、幼虫は様々な植物を食べる。チャや柑橘類、ブドウなどのさまざまな農作物の害虫であることが知られている。幼虫は葉を巻いて巣を作る。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

復元ゾーンの生き物たち



<令和5年2月の記録（主な生物）>

○植物：アイオオアカウキクサ、アメリカイヌホオズキ、イヌガラシ、イヌコウジュ、イヌタヌキモ、ウラジロチチコグサ、エビモ、オオアレチノギク、オオイヌノフグリ、オオバコ、オニタビラコ、オニノゲシ、イ、カゼクサ、カタバミ、カモジグサ、カラスノエンドウ、カラスウリ、カラムシ、キカラスウリ、ギシギシ、キュウリグサ、クロモ、コセンダングサ、コンフリー、セリ、スイセン、スイバ、ススキ、スズメノカタビラ、セイタカアワダチソウ、セイバンモロコシ、セイヨウタンポポ、タウコギ、タコノアシ、タンキリマメ、ヌカキビ、ノゲシ、ノビル、ノボロギク、ナガバギシギシ、ナズナ、ハコベ、ハハコグサ(ロゼット)、ヒメムカシヨモギ、フキ、ヘラオオバコ、ヒメオドリコソウ、ハルジオン、ホトケノザ、タネツケバナ、マツカサススキ、マツモ、ミゾコウジュ、メマツヨイグサ、ミドリハコベ、ヨシ、ヨモギ、ヤブヅラミ、フラサバソウ、ヨメナ、カントウタンポポ、セリ、ミチタネツケバナ、タネツケバナ、ヤエムグラ、ヘビイチゴ、アメリカフロ、オニアザミ、オギ、ジシバリ、ハナイバナ、カキドオシ、ノジスミレ、フトイ、チチコグサ、クコ、カラシナ、メマツヨイグサ

○昆虫類：ゴマダラチョウ、ミノガ(種名不明)、オオミノガ、ハナバチの仲間(種名不明)、コガタスズメバチ、ハラビロカマキリ、オオカマキリ、ヨコズナサシガメ、ナナホシテントウ、ヨツボシケシキスイ、アシナガグモ、ネコハエトリ、ムカデ、ヤスデ

○鳥類：アオサギ、オオバン、オナガ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、キジバト、コサギ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒドリガモ、ヒヨドリ、マガモ、ムクドリ、コガモ、メジロ、モズ、シジュウカラ、カワラヒワ、キセキレイ、ツグミ、コゲラ、カワセミ